

総評

数学がやや難しめ、英語がやや易しめ、全体としては標準的な難易度の出題でした。

今回の試験範囲である、中1の冬期までの内容は、入試に向けてのいわゆる「基礎」の部分ですから、どの教科も確実に身につけておきたい内容ばかりです。間違えた問題は徹底的に復習し、基礎を完璧にしましょう。

1月からの学習はまた一段難しくなります。結果が良くても油断せず、より実践的な問題に取り組みましょう。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけではさほど価値はありません。自分の間違いの傾向や弱点を把握し、苦手な問題を克服してこそ、受験した価値があるのです。せっかくの受験を無駄にしないためにも、間違えた問題の原因分析や直しを必ず行って、実力アップに役立ててください。

国語

標準的な難易度の出題となりました。

㊦は、(2)「添付」の読み問題の得点率がやや低くなりました。「そうふ」という誤答が多く見られました。㊦と㊧は、全体的によくできていました。しかし、問題文に合った文末になっていない解答が多くありました。問題文で問われていることを正確にとらえ、それに適した文末の形で答えるようにしましょう。㊨は、問四の得点率が低くなりました。問題文の「文中で挙げられている具体例を用いないで」という条件が難しかったと考えられます。問題集などを活用して、さまざまなパターンの問題に慣れておく必要があります。㊩は、問二の得点率が低くなりました。中1の第5回からは、古典も出題されるため、これまでの時間配分を見直して、時間内で解き終わるように工夫することが大切です。

数学

全体としてはやや難しめの出題でしたが、小問の単位では基本的な内容も多く含まれていました。間違ってしまった問題や、あいまいな点は必ず見直しましょう。

①の問1の計算問題では、分数や累乗をふくむ計算の誤りが多く見受けられました。問6のような不等式は、「(あまったみかんの個数) ≥ 4 」のように言葉を使って考えましょう。③問1は、(2)の小数をふくむ方程式の得点率が低かったです。計算過程はできるだけ書き残して、両辺を10倍するときのミスを防ぎましょう。

④の方程式は、問2が難しかったです。式を作るときは、等しい数量は何か、に着目すると糸口が見つかる場合があります。⑤問3、比例定数 a の値を求めるためには、1点の座標がわかればよいことを押さえましょう。軸に平行な直線の長さの求め方に慣れましょう。

社会

標準的な難易度の出題となりました。

地理分野では、①問1、③問4、④問4のような基本的な内容はよくできていました。②問6(2)は、「2つの県の県庁所在地」という問題でしたが、大阪府について書いた答案が多くありましたので、問題文は落ち着いて最後までよく読むようにしましょう。

歴史分野では⑥問3(1)の年代並べかえ問題の得点率が非常に低くなりました。並べかえ問題が苦手な人は、教科書の年表などを利用して歴史のおおまかな流れをつかむようにしましょう。また、⑨問7の記述問題は「ヲキメ(負い目)」を内容にふれて書く問題でしたが、「ヲキメ」をそのまま書いた解答が目立ちました。記述問題の解答を作成する際は、問題の指示に従って書くように心がけましょう。

理科

標準～やや難しめの出題となりました。

①は、問1③④が難しかったものの、基本的な内容が多かったこともあり全体としてよくできていました。②も基本問題が多く全体的にできていました。間違えたところはしっかりと復習しましょう。③は、計算や思考が求められた問4、問5の得点率が低くなりました。④も同様に計算をする問2の正答率が低くなりました。高得点を目指すには、このような計算・思考問題への対応が必要となります。学習した内容が多くない今の時期に演習を繰り返してしっかりと身につけておくことが重要です。⑤は、難問がなかったこともありよく出ていました。⑥は、問2の作図が難しかったようです。⑦は、問2(1)や問4の計算をする問題の得点率が低くなりました。⑧は得点率の低い問題が多くなりました。

英語

やや易しい出題となりました。

得点率が低くなった問題がいくつかありました。間違えた問題をそのままにせず、2年生になる前にしっかりと復習しておきましょう。

①のリスニング問題は全体的によくできていました。引き続き得点できるようにしましょう。②の問7では、三単現のミスなどが目立ちました。主語がSheの場合は、動詞はhaveではなくhasとなるので注意しましょう。③は全体的によくできていましたが、問3(2)の得点率が低くなりました。主語が複数の場合、代名詞はTheyになります。④は1年生で学習する文法項目からの出題となりました。教科書の基本文や各単元の文法項目を中心に問題出しているため、間違えた人はよく確認しましょう。